



2024年6月27日

各位

会社名 東海染工株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鷲 裕一  
コード番号 3577 東証スタンダード市場  
名証プレミアム市場  
問合せ先 取締役管理部長 河西 勝  
(TEL 052-856-8141)

## 上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2024年3月末時点において、東京証券取引所スタンダード市場および名古屋証券取引所プレミアム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記の通り、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2024年3月末時点において、東京証券取引所スタンダード市場および名古屋証券取引所プレミアム市場の上場維持基準への適合状況は、以下の通りとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、下表の通り、今回不適合となった流通株式時価総額の基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めてまいります。

当社の状況

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
2024年3月末日 (基準日時点)	1,778人	9,627単位	802百万円	26.6%

東京証券取引所スタンダード市場

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000百万円	25.0%
計画書に記載の項目			○	
計画期間	—	—	2026年3月末	—

名古屋証券取引所プレミアム市場

	株主数	流通株式数	流通株式比率	個人株主基準
上場維持基準	800人	10,000単位	5.0%	適用なし
計画書に記載の項目		○		
計画期間	—	2025年3月末	—	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所および名古屋証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※名古屋証券取引所プレミアム市場の上場維持基準は、2022年4月3日現在で同市場第一部に上場している会社に対し、当分の間、適用されるものです。

## 2. 上場維持基準の適合状況に向けた取組みの基本方針

当社は、2024年3月末時点で、流通株式時価総額に関して不適合となりました。

東京証券取引所スタンダード市場および名古屋証券取引所プレミアム市場における上場維持基準への適合に向け、「流通株式時価総額の向上」を基本方針として上場維持基準への適合を目指してまいります。

## 3. 上場維持基準の適合していない項目の課題及び取組内容

### (1) 株価について

#### ① 課題

当社は、株主及び投資家の求める業績水準や将来の成長期待が十分でないことが「株価」及び「時価総額」低迷の主因であると考えております。従いまして、業績の向上及び企業戦略のPRにより株式市場での評価を高めることが最大の課題であると認識しております。

#### ② 取組内容

##### ・業績の改善

当社グループは、染色加工事業から生活関連事業会社への転換を図ってまいります。

国内の繊維産業は人口減少・高齢化により衰退傾向にあり、繊維のみに頼らない収益構造を造るため、既存の非繊維事業の強化・拡大及び、周辺事業や新規事業へ積極的に挑戦することで、業績の改善および収益基盤の強化を図ってまいります。

子育て支援事業は、企業内保育所の運営受託の拡大・強化や、児童発達支援・放課後等デイサービス事業の新規拠点開設および放課後児童健全育成事業（放課後クラブ）への新規参入を図るとともに、保育用品のレンタルサービスや既存施設への更なるサービス強化・拡充を進めることで収益強化を図ります。

洗濯事業は、お取引先様からの拡大要望や新規の案件に対応するため、積極的な設備増強および、拠点の拡大を実施し収益拡大を図ります。

機械販売事業では、国内外に向けた染色関連設備や薬液濃度制御装置の販売強化、染色関連設備の開発で培った技術の異業種転用を進めることで収益強化に繋がります。

##### ・資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の推進

現状分析・評価を踏まえ、以下の戦略を進めることでPBR1倍以上を目指します。

事業戦略：収益基盤の強化を図り、収益率・資本収益性の改善を図ります。

資本戦略：政策保有株式の縮減検討と安定的な株主還元の継続を実施します。

IR戦略：株主・投資家の皆様に事業内容・戦略などに理解を頂けるよう強化を図ります。

##### ・株主還元

当社は、新たな株主還元施策として、株主優待制度を新設しました。

株主優待制度の詳細につきましては、2024年5月9日付『株主優待制度の新設に関するお知らせ』をご確認下さい。

また、当社は株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、業績や業績見通しおよび経営環境などを総合的に勘案し、適正かつ安定的な配当政策を維持することを基本方針としております。

業績改善や政策保有株式の縮減によって得られた利益・資金により、株主還元の強化を図ります。

### (2) 流通株式数について

#### ① 課題

当社の「流通株式数」は、政策保有株式や法人株主が保有する非流通株式割合が高く、市場での当社の認知度が十分で無いため、日々の出来高が少なく流動性が低下していると考えております。従いまして、流通株式の増加及びIR活動の強化によって市場の認知度を高めることが課題であると認識しております。

#### ② 取組内容

##### ・流通株式の増加

現在、段階的に実施しております政策保有株式の縮減のほか、事業法人株主に対し売買を促すなど、株式市場への流通化を進めてまいります。

また、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆様に中長期的に当社株式を保有していただくため、株主優待制度を新設しました。

・IR 活動の強化

当社は、市場における認知度の向上をはかるため、当社ウェブサイト内の株主・投資家情報や、事業内容ページの刷新・見直しを実施しました。今後も、適時開示に基づく財務情報のほか、サステナビリティなどの非財務情報を含めた情報発信について一層の充実を図ってまいります。

上記の取組につきましては、株価への影響も考慮しながら段階的に実施してまいります。

以 上